

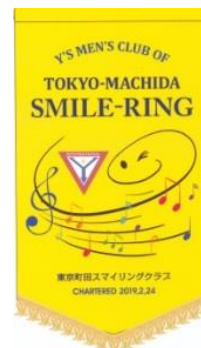


THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's Men's CLUBS
JAPAN EAST REGION TOHSHIN DISTRICT
TOKYO MACHIDA SMILE-RING Y'S MEN'S CLUB

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

2020年
8月号(第17号)

THE SMILE-RING Chartered in Feb. 2019



今月の聖句

誘惑に遭うとき、だれも、「神に誘惑されている」と言ってはなりません。神は、悪の誘惑を受けるような方ではなく、また、御自分でも人を誘惑したりなさらないからです。むしろ、人はそれぞれ、自分自身の欲望に引かれ、唆されて、誘惑に陥るのです。そして、欲望ははらんで罪を生み、罪が熟して死を生みます。わたしの愛する兄弟たち、思い違いをしてはいけません。

ヤコブの手紙 1章 13～16 節

《モットー》

『強い義務感を持つ 義務は全ての権利に伴う』

国際会長 ヤコブ・クリステンセン(デンマーク) 「命の川を信じよう」
アジア・太平洋地域会長 デビット・ルア(シンガポール)

“変化をもたらそう!”

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩) 「変化をたのしもう!」
東新部部長 加藤義孝(東京) 「友情の絆を強め YMCA を支えよう」
クラブ会長 為我井輝忠 「感謝、信頼、地固め、そして成長!」
[クラブ役員] 直前会長 太田勝人 書記 尾張日出夫
担当主事 諏訪治邦

【 8月の巻頭言】

為我井輝忠

長かった梅雨も8月になると共にやっと終わり本格的な夏となってきました。2月から新型コロナウイルス蔓延の影響で当クラブは6月まで5か月間例会を開催できないでいました。しかし、7月例会はWEB定例会としてZoomを利用して開催することが出来ました。こうしてITの利用に不慣れなためにこれまで活用出来ませんでした。多くの方々の助けを得て開催できました。加藤東新部部長の公式訪問も得て、何とか終了しました。今月もWEB定例会となります。皆様のご参加をお待ちしています。

7月は当クラブにとって大きな前進の月となりましたが、それと共に残念ことが生じました。一部の会員の方がコロナウイルス拡大の渦の中で7月23日にコンサートを開いたことでした。クラブ側としてはこのような時期に開催は危険があるので見合わせてほしいと再三要望しましたが、スマイリングクラブの主催ではない形で行われました。また今月30日にも予定しているようです。みなさんはどのようにお考えでしょうか。ご意見をお聞きしたいです。

これから連日の暑さに負けないよう十分健康にはお気を付けてください。斯く言う私は少々暑さ負けしてバテ気味です。皆様ご自愛のほど。

2020年8月例会プログラム

日時：2020年8月20日(木)19:00～21:00
会場：ZOOMにて開催します。

(下記UNLをクリックしてご入場下さい)

<https://us02web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYlJYMG0vMXNyYjZicFpzY1JUUT09>

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 司会 | 大田勝人 |
| 1. 開会点鐘 | 会長 為我井輝忠 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一同 |
| 3. 聖句朗読と祈禱 | 諏訪治邦 |
| 4. ゲストとビジター紹介 | 会長 為我井輝忠 |
| 5. 卓話：「コンビニエンスストアの発展」 | 東京世田谷クラブ 朝倉正昭様 |
| 6. ハッピーバースデー | |
| 7. 諸報告など | |
| 8. 閉会点鐘 | 会長 為我井輝忠 |

(注) ZOOMにつき一部省略させていただきます。

【 今月の強調テーマ 】

8月の強調テーマ:CS・Y サービス・パートナーシップ
CSとは、Community Service の略で、地域社会・隣人奉仕活動を意味します。
大は地球社会、小は地域社会の隣人への奉仕活動で、各クラブは東日本区・東新部のCS活動に参加すると

共に、関係する YMCA の求めに応える奉仕実践活動でもあります。

当クラブでは；

1) 町田山崎団地内、「グランハート悠々園」にて歌声サロンを2019年9月にスタートし、山崎団地内にお住まいの方々を中心に童謡・唱歌や親しみやすい歌謡曲を一緒に歌って楽しんでいます。併せて、特養ホームのショートステイの方々を無料でご招待し、歌って笑顔を共有しています。

また、成瀬台の「野中ホール」でも楽しい歌声サロンを展開しております。

しかし乍ら、コロナ感染拡大の中で現在中止に至っていることが本当に残念です。

コロナ終息が待たれる今日この頃です。

2) もう一つ。「町田 YMCA 活動委員会」に入り、「わくわく科学実験教室」や「ベテランティア養成」や「玉川学園夏祭り」や「原町田教会での市民クリスマス祝会」や「3月11日東日本大震災を忘れない風揚げ」等にも積極的に参加して地域奉仕活動を行っています。

(太田 記)

【事務局からのご報告】

新型コロナ禍が終わりを見せぬ長期戦となりましたので、7月16日(木)にZoomをお借りして開催しました。多くの方々のお顔を見られる映像の威力を実感し、8月もZoomによる開催を予定しました。

1. Zoom 例会の予定

8月20日(木) 19:00~21:00

(2時間以内の予定です)

2. ワイズメンズクラブ国際協会から受賞

東日本区理事 山田敏明様から2019~2020年度の当クラブの活動について表彰状を頂きました。

1) 地域奉仕・YMCA サービス事業部門

*一人当たりASF 献金貢献賞2位

*ASF 献金・達成賞

2) 国際・交流事業部

*YES 献金・達成賞

*TOF 献金・達成賞

★一部を下記に掲載します。



3. 歌声サロンについて

新型コロナの感染拡大の現況から、スマイリングクラブとしては開催を自重すべきと言う見解ですが、協

議の結果、公演は演奏グループのムジカ・コンソラータ主催とし、開催に際しては十分な感染対策を施すことを条件に、クラブとしては後援のみを行うことに致しました。

1) 「うたごえ in TEAR 座間」の実施報告

7月23日(海の日) 14:00~16:00

ムジカ・コンソラータ主催により開催されました。新型コロナ対策を行っての公演でした。



来場者17名でした。
※演奏者と客席の間に2枚の透明パネルを設置して公演

2) 「うたごえ in 大和市シリウス」公演予定

※ムジカ・コンソラータ主催で開催します。

日程：8月30日(日) 開演 19:00~21:00

会場：神奈川県大和市「シリウス・サブホール」

小田急江ノ島線&相鉄線/大和駅下車 徒歩約3分
スペシャルゲスト：

トランペット&オカリナ演奏者・茨木智弘氏
会費：お一人2,000円(ゲスト招請及び有料会場費等)
予約受付 竹尾 090-7639-0260 小松 090-3514-2170
※新型コロナ対策を施して開催。

3) 今後の公演について

「行事開催のルール」に基づいて開催企画の決裁を受けて後援し、コロナ感染の渦中ではWEBによる演奏会などの開催を検討します。

(尾張 記)

【行事開催のルールについて】

(今回の経緯概要)

1. 歌声サロンを担当する会員から町田地域以外で演奏できる会場が見つかったので開催したいとの情報が会長他三役に寄せられました。
2. 会長は、①悠々園・野中ホール以外で開催する場合には事前に詳しく相談すること。②コロナ禍の現状では自重し、終息してから開催すること・・・の考えを示しました。主催チームから対策等について会長に直接説明したいとの申し出がありました。回答がありませんでした。
3. 主催チームからは、①コロナ対策は考えられる万全の対策を行う。②歌声よりもコンサート主体のプログラムとする等の説明があり、是非開催させて頂きたいとの申告がありました。
4. 相互にメールによる意見交換があり、最終的な結論として、①主催はクラブでなくムジカ・コンソラータ(主催グループ名)が行う。②クラブは後援者として補助金を出す。③コロナ対策については、くれぐれも安全・安心を第一に行うこ

と。・・に到着しましたが、後味の悪い応答になり反省点が多々ありました。

(今後の開催ルールについて)

- (1) 開催の企画は早めに提案すること。
- (2) 音楽のみならず幅広く企画すること。
- (3) お客様を最優先に考えること。
- (4) 採算性を十分に検討して提案すること。
- (5) 事前相談についてはメールのみならず面談など通じて意思疎通に努めること。
- (6) 決裁は適確且つ迅速に判断して行うこと。

(反省点等)

私達は深い縁あってご一緒にチャーターナイトを迎えた大切なメンバーです。今回の苦い経験と教訓を前向きにとらえて、皆さんが一致結束して「東京町田スマイリングクラブ」の発展のために協力しあおうではありませんか。(太田 記)

なぜ私たちは、排他的であるべきなのか③

ポール・ウィリアム・アレキサンダー講演 (オハイオ州、トレド) (翻訳、脚注：田中博之)

私たちの最も根本をなす理想のひとつは、ワイズのモットーにうたわれているように「強い義務感を持つ義務はすべての権利に伴う」ということです。このモットーが採用されたのは、私たちはともすれば、特にアメリカの市民は、私たちのさまざまな権利を完全に実行されることを要求する一方、こういった権利の基礎にある義務をないがしろにするという、見逃すことができないう傾向を持っている故です。このモットーについて、例を挙げてごく単純に説明することができます。大通りを運転中、交通信号が緑になっていると、そのまま交差点を走りすぎることができます。そこに交差している道を車が横切って衝突する心配がないからです。何故でしょうか。それは、交差する道の側では信号は赤になっていて、そこにさしかかった車は停止し、あなたの側の車に通行権を譲るからです。もし一方の道の信号が緑で、他方の信号が赤でないということが起こるとすれば、それは役に立たないどころではすみません。それに対応する義務なしに、権利はあり得ません。一方の側での赤信号なくして、他方での緑があり得るとすれば、ものごとく左側なしに、右側だけがある、裏なくして表だけがあるというようなものです。ある義務の承認と履行は、皆さんまたは、皆さんの権利を守ってくれます。人生のさまざまな交差点で、どこに権利があり、どこに義務があるのかを示す交通信号はめったにありません。ある領域においては、特に、社会的、道徳的、民族間、国家間において、多くの権利が叫ばれ、義務があいまいにされているのを見ます。義務があいまいだと、関心はほとんど自分の権利にのみ向けられることが常ですが、義務は、それにもかかわらず存在します。私たちのモットーは、

権利の実行についてよりも、むしろ義務の確認と履行をもっと考えるように要求しています。私たちがしてもらえなことよりも、私たちがしなければならないことを、私たち自身についてよりも、他の人々のことにもっと目を向けることを要求しています。ワイズマンであることは、義務は、すべての権利に伴うことを認めることです。

ワイズメンとして、まず果たしやすい義務は、例会に規則的に出席することです。もうひとつは、遅滞なく金銭的な義務を果たすことです。これと同様に、果たしやすい義務は、沢山あります。大会に出席し、それに協力し、それについて報告すること、連絡事項には直ちに返事を出すこと、“Association Men” (注1)を読むこと等々です。私たちの義務の中で最も重要なものは、クラブのすべての委員会活動および私たちの目的の達成のために企画されたすべての活動に参加することです。現在は、ほとんどすべての大陸の、12の国における160の都市で活発な活動を行っている(注2)という私たちのクラブの高い水準は、ワイズメンによって成し遂げられた成果、提供された奉仕そして実際に達成された目的がもたらしたものです。私たちの国際委員会(注3)は、豊富な資料を配布して来ましたがこれに対しては、クラブに対して余りに多くの示唆を出しすぎ、負担をかけ過ぎだという批判もあります(しかしこの資料は、私たちにどのような活動の機会があるかを示すためのものでした)。しかし、実際に活動をするのは、委員会ではありません。委員会は、方法を示すだけのものです。活動を行うのは、メンバー一人ひとりなのです。私たちの国際憲法には、メンバーの種類は、ひとつしかありません。すなわち「活動的なメンバー」だけです。メンバーとは、本当に活動する者という意味です。古い格言に「始めよければ半ばの成功」というのがあります。何かを始めた者は、「希望的観測」による試みを始めただけで、結果として現実を甘く見たことに終わることが多いようです。何かを始めるのは、それほど難しいことはありません。しかし、それを継続し続けるのには、強い覚悟が必要です。時には頑張るといふことなら誰にも出来ます。しかし、計画したとおりの速さを守りながらそれを継続するには、スタミナが必要です。ワイズマンは、単にスターターではありません。継続者でもあります。これには熱意が必要です。ワイズマンであるためには、熱意をもって活動することが必要です。結論的に言うと、ワイズマンであることは、以下を意味します。(1)理想主義者であること(2)YMCAに尽くすこと(3)国際志向を持つこと(4)自らの義務を見つけ、自らに課すこと(5)熱意をもって行動すること真に、ワイズマンであるということには特別な意味があります。皆さんは、それがどういうことかおわかりだと思います。そしてワイズマンであるということが、なぜ上述のような多くのことを意味するのかの理由もご存じでしょう。なぜかと言うと、私たちは町で最

も排他的なクラブであるからです。つまり、クラブは、刺激的でやりがいのあるものであり、最も強く最も厳格な理想主義に対する私たちの主張をダイナミックに強調する手段だからです。私の、ワイズメンすべてに対する願いは、以下のとおりです。

注1 ワイズメンズクラブ国際協会の公式の組織内広報誌。現在は、“YMI World”

注2 2020年3月現在では、69か国、1,451クラブ

注3 現在の国際本部 (IHQ: International Headquarters)

私たちの運動の核心、私たちの運動の存在価値は、この排他性、差異性にあります。私たちが、私たちの理想を持たない者、それを受け入れず、発展させない者、夢を追い求める意欲を持たないメンバーを受け入れたり、そういったメンバーをクラブに引き止めたりするために、排他性を捨て、敷居を低くするその瞬間、私たちは、一滴の猛毒を取り入れることとなります。その猛毒は、力を強め、広がり、浸透し、ついには私たちの全組織に死を意味する麻痺を引き起こします。今、ここで、私たちは、自らの心を探り、私たちは、メンバーであるという権利をまだ保持しているのか

どうか、私たちが個人として、この排除の過程を恐れてはいないかどうかを確かめてみることをお勧めします。各自が、以前自分の中に奮い起こされたあの理想主義を幾分かでも失ってしまったのではないかどうかを自問してみましょう。私は、YMCAと心を完全にひとつにしているのでしょうか。そうではなくて、私は逆行しているのではないのでしょうか、誠実に状況を修正しようとしているのでしょうか。敢えて自分の視野の広さによる自分自身の測定に身をさらしてみてもどうでしょうか。他の人の権利がその上に乗っかっている自分の義務を排除する権利を考えたりしてはいないのでしょうか。私は、ワイズマンや働き手の「ナイフとフォーク」になっているのでしょうか—私は、熱情を持って活動しているのでしょうか。自己犠牲によって表されるこの理想主義に対して、YMCAに対するこの忠誠に対して、この国際志向、この視野の広さに対して、この権利より義務についてのより大きな関心に対して、熱情的な活動をもって、私達のうちにおられる神様と共に、一人ひとりそして全員が、改めて自分自身を捧げようではありませんか。(完)

YMCA NEWS

日本のYMCAでは2020年の今年、教育キャンプ100年の記念すべき年となりました。

教育キャンプとは、目的をもって青少年のキャンプを行い、社会力を自然に身に着けることが目的となります。また、それに関わる大学生をはじめとするボランティアの成長につなげることも目的の一つです。1920年と言えば早稲田・慶応・日大・中大・同志社などの大学が認可を受けて年でした。六甲山麓で行われたキャンプは日本の教育キャンプの草分けであると言われていています。それよりも少し前にボーイスカウトが野営を行った記録が残されています。その後数年で、日光中禅寺湖畔でも行われました。1923年には東京YMCA山中湖キャンプ場が、小林弥太郎氏により寄贈されまもなく100年忌となります。現存するキャンプ場の中では日本で一番古いキャンプ場であると言われていています。富士山に見える素晴らしい環境のキャンプ場です。

熊本や鹿児島・遠く離れた岐阜でも梅雨前線による大雨で大変な被害が出ました。コロナ禍の中では組織的なボランティアの派遣はできない状態です。大変悩ましい状態ですが、県内の皆さんの相互で共助するしか方法が無いようです。天候が急変したり、スコール様な雨が降ったりと気候の変化が従来の対応・生活パターンを変更せざるを得ない状況になってきています。皆さんもご自宅の近隣のハザードマップを確認しましょう。

(諏訪治邦 記)

これからの予定

- ① 8月20日(木) 例会 ZOOMにより開催します。 19:00~
- ② 9月16日(水) 例会 開催方法は未定です。 19:00~

○例会日 第3水曜日 19:00~21:00 場所: まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

○第2例会 第1土曜日 13:30~15:00 場所: まちだ中央公民館 6階 町田市原町田 6-8

東京町田スマイリングワイズメンズクラブ

事務所: 〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 太田勝人氣付

会費振込口座: 城南信用金庫、玉川学園支店(支店番号: 075)

普通預金 口座番号: 155093

口座名義: トウキョウマチダスマイリングワイズメンズクラブ